

島根県生協連ニュース

No.21 2011年1月発行

ホームページ <http://shimane.kenren-coop.jp>

島根県生活協同組合連合会

〒690-0017 松江市西津田1丁目10-40 (生協しまね内)

TEL 0852-27-6284 FAX 0852-27-5742

E-mail: kenren-s@coop-shimane.jp



【島根大学生協 『Peace Now! shimane』 三刀屋町・永井隆記念館前】

新年のご挨拶

島根県生活協同組合連合会

会長理事 鎌田 憲男



組合員、会員生協の皆さんあけましておめでとうございます。

政権交代という歴史的な大変化は、国民に大きな期待を持たせた一年でありました。しかし、不況続きによる経済の悪化は、国民生活を苦しいものにしてきました。このような環境の中ですから生協運営も厳しいものがあつたと思いますが、各生協の努力で今日を迎えたことには敬意を表したいと思います。

生協法の改正以来、学習活動や組合員との対話を中心に単協の組織的整備が進み、今後の生協運動の発展に向けての基盤が出来たと考えます。

幸い今年は『卯年』であり、「一飛び、二飛び」と生協運動発展への元年にして欲しいものです。また、生協に対する県民や各団体の期待度が年々高くなっていますので、更に貢献出来る具体的な運動を組合員と一緒に進める年にしたいものです。

島根大学生協 Peace Now! shimane

島根県東部にある戦跡の見学と平和について考える

2010年12月4日(土)に「Peace Now!島根2010」を実施しました。広島、長崎、沖縄には実際現地に行き、平和を学び、考える機会を作ってきましたが、我々が住み、生活している島根県内で戦跡を見学し、平和について考えるきっかけ作りにもしてもらおうと、生協学生委員会の6人が9月下旬より準備をすすめてきました。

当日は大学教授2名を含む30名の組合員の参加がありました。大型バスを貸し切り最初に向かったのが三刀屋町の「永井隆記念館」。永井博士のことは長崎で原爆傷病者を救護されたことを知っている人は多いですが、島根県出身で、かつ島根大学の前身である旧制松江高校を卒業されたということを知っている人は少なく、今回の取り組みを通して、より身近に感じることができました。

その後、斐川町にある「旧海軍大社基地（飛行場）」と弾痕の残る「新川鉄橋」、松江市の北公園内にある原爆慰霊碑を見学し、島根大学に戻ってきました。



【出発前のミーティング・開会式】

そして教室で加納美術館の加納佳世子さんによる講演、参加者のグループ討論などを実施し、18時過ぎに終了しました。

日頃、平和について考え、議論する機会の少ない大学生が多く参加し、事実を知り、みんなで考え、話し合えたことは、大変貴重な機会となりました。次年度以降も継続して実施していきたいと考えています。



【松江北公園「原爆慰霊碑」】



【斐川町「旧海軍大社基地」】

参加者の感想文から

永井隆記念館など行ったことのないところへ行って、平和に関するものが見られて良かったです。北公園の原爆慰霊碑やシベリア強制抑留者慰霊之碑など、近い場所にあるものでも全くその存在を知らなかったのので、今回その存在を知ることができて良かったです。

広島で、もう戦争について知らないことはないってくらい平和の学習をしてきたけど、まだ知らないところに戦争と平和について考えられるところがあるのだと知った。最後にグループのみんなと色々意見を言えたのもいい経験になった。知るだけじゃなく、感じたことを他の人と語るということも平和学習では大切なことだなと感じた。

T P P交渉への参加に反対し 日本の食を守る島根県集会開催

J A島根中央会より『T P P交渉への参加に反対し日本の食を守る島根県集会』へ主催団体として参加をして欲しい旨の申し入れがあり、第4回理事会（2011年11月17日開催）にて協議を行い、主催団体として参加を行うことが確認されました。

12月13日にJ Aグループ島根、島根県森林組合連合会、漁業協同組合J Fしまね、島根県生活協同組合連合会の4団体が主催団体として島根県集会在雲市・ラピタにて開催されました。当日は、4団体、賛同団体（67団体）、賛同者など約500名が参加し、T P P参加に反対し、県民の理解と支持を得るための県民運動を展開することが確認されました。

集会には、島根県知事代理・松尾副知事をはじめ国会議員、県議会議員の来賓の皆様の出席のもとに開催され、初めに、J A島根中央会・萬代会長の挨拶、代表要請、そして、島根県農協青年組織協議会・三浦組合長、石央森林組合・三浦組合長、J Aしまね女性組織協議会フレッシュミズ部会・永江部会長の3氏がT P P参加に反対する立場で意見発表が行われました。

意見発表後、『集会宣言』。そして、『T P P交渉参加問題』と題し、東洋大学名誉教授・服部信司氏の学習講演会が行われました。集会終了後、トラクター、軽トラックを連ね約1時間の出雲市内のデモ行進が行われました。



【閉会の挨拶をする島根県生協連 鎌田憲男会長理事】

集会宣言

政府は11月9日、「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定した。この中で、T P P交渉の参加の判断は先送りしたものの、国内における十分な議論なく「関係国との協議を開始する」と判断したことは、極めて遺憾である。

さらに、この基本方針では、わが国農業分野について「国を開く」ことを目標に掲げており、「鎖国だ」、「閉国だ」と根拠のない報道が相次いだ。わが国の農産物の平均関税率は約12%で、主要国の中でも極めて低い水準にあり、すでに十分開かれていることを改めて認識すべきである。

林業の関係では、合板や製材品等の輸入拡大により、原木を供給する林業の発展に支障をきたすばかりか、中山間地域・山村地域の経済・雇用・森林の公益的機能に多大な影響を及ぼし、既に20%台にまで低下した木材自給率を50%に引き上げるとする「森林・林業再生プラン」に逆行するものである。

漁業の関係では、以前は100%以上あった食用魚類の自給率が62%に低下しているが、さらに、日本市場への輸出を目的とした乱獲が想定され、水産資源の枯渇から漁業経営が窮地に陥ることは必至であり、漁業と漁村が果す国境監視、海難救助、環境保全、文化の伝承などの多面的機能が失われる。

食の関係では、内閣府の世論調査でも国民の9割以上が食料自給率の向上を望む結果が出ている。さらに、今年3月に閣議決定された「新たな食料・農業・農村基本計画」は、食料・農業・農村政策を国家戦略と位置付け、平成32年までに食料自給率目標50%の達成を掲げたが、1年もたわずに基本計画との整合が困難なT P P交渉が議論されることに憤りを持つものである。

わが国が貿易立国として発展してきたことは事実であり、我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではない。ただし、その結果、わが国は世界で最も開かれた世界最大の農林水産物純輸入国となり、食料自給率が主要国で最低水準にまで著しく低下したことも事実である。

今、わが国は大きな岐路に立っている。地球環境を破壊し、先々の経済的利益を追求し、格差を拡大し、世界中から食料を買いあさってきた、これまでのこの国の生き方を反省しなければならない。

自然の恵みに感謝し、食べ物を大切に、美しい農山漁村を守り、人々が支え合い、心豊かに暮らし続けていくために、本集会を契機として、T P P交渉への参加に反対し、さらなる県民の理解と支持を得るための県民運動を展開することを宣言する。

平成22年12月13日

T P P交渉への参加に反対し日本の食を守る島根県集会

※確認された「集会宣言」

通常総会・理事会開催報告

★第4回理事会報告

日時：2010年11月17日(水)
会場：生協しまね本部組合員室

【主な報告事項】

- ①10月末決算並びに年度末決算見通し
- ②「地方消費者グループ・フォーラム」について
- ③島根県労協「対県要請」内容について
- ④「生協の核兵器廃絶に向けた」取り組み

【主な協議・審議事項】

- ①県連「災害時対策検討委員会」まとめと報告を受けて
※1月理事会より具体的な協議に入ることを確認。
- ②役職員研修会企画について
※2011年2月18日に、松江東急インにて開催することを確認。
- ③2011年度県連会費額決定について
※会費総額4,051,700円で今年度比100.3%とすることを確認。
- ④県担当部局(消費生活室)・県生協連合同会議第5回理事会日程変更について
※2011年1月31日に、生協しまね本部にて開催することを確認。

- ⑤県議会議員懇談会の進め方について
- ⑥賀川記念全国教育基金加入の件について
※第38回通常総会に提案をすることを確認
- ⑦J A 島根中央会から申し入れについて
※「TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る島根県集会」に主催団体として、参加を行うことを確認。

【2011年2月～3月予定】

★「食料・農林漁業・環境シンポジウム」

日程：2月11日(金)13時30分～
会場：松江市総合福祉センター

★「県連役職員研修会」

日程：2月18日(金) 会場：松江東急イン

★「日生協中四国地連図上演習」「大規模災害連絡会」

日程：2月23日(水)～24日(木)
会場：広島「国際会議場」

★「県連協議会」

日程：3月2日(水)
会場：日生協中四国地連会議室

★「県連第6回理事会」

日程：3月16日(水) 会場：生協しまね

今後の予定・ご案内



県連「役職員研修会」のご案内

『家族の変化とつながりの現在』

日時 2月18日(金) 14時～16時予定

会場 松江東急イン (JR松江駅前)

講師 中川順子氏 (立命館大学教授)
(産業社会学部特任教授)

主な著書「労働者家族の生活枠組み」
「現代家族と家族政策」など

参加費 無料

一人ひとりとその家族、あるいは、その家族が持っている地域的な社会関係は、今、どうなっているのか。「生協の組合員の家族とそのネットワークについての調査」などを基に「家族とつながり」の現状など講演を頂きます。生協での様々な取り組みを進めるうえで、地域住民や組合員の暮らしの変化をきちんと観ることが必要だと思います。その基礎単位の家族の変化をどうみるのか、現在はどんな状況にあるのか。そして我々として何が出来るのか考えるきっかけになればと考えます。

※参加ご希望の方は事前に、会員生協又は、県連事務局までご連絡下さい。

テーマ「宍道湖七珍をどう再生するのか～水環境と生物多様性の保全～」

一食料・農林漁業・環境を考える

島根県民フォーラムー

近年、宍道湖七珍はアマサギなどの著しい減少など存続の危機に直面しています。私たちにあって身近で大切な宍道湖七珍に焦点をあて、七珍の現状、宍道湖の水環境や生物多様性の実態、そして、回復と保全に向けての課題について考えます。

日時 2月11日(金)祝 13時30分～16時30分

会場 松江市総合福祉センター
松江市千鳥町70

○基調講演

「宍道湖七珍～その意義と再生への課題」

講師 伊藤康宏氏

島根大学生物資源科学部 教授

○パネル討議

宍道湖漁協参事、NPO法人もりふれ倶楽部
県立宍道湖自然館ゴビウス館長他